

6161

志

こころ

志

⑦

わす (れる)

志

ボウ

六一 XI

わすれる 忘れる
わすれない 忘れない
わすれた 忘れた
わすれもの 忘れ物

ぼうおん 忘恩と
ぼうが 忘我の
ぼうきやく 忘却きょうち
ぼうねん 忘年会かなた

6162

棒

きへん

棒

⑫

棒

ボウ

ぼうじゅつ 棒術・けいぼう警棒
ぼうじょう 棒状・いたじょう板状

あいぼう 相棒をつとめる

かたぼう 片棒をかつぐ

かなぼう おに鬼に金棒
けいぼう けいかん警官の警棒

しんぼう 心棒になる

てつぼう てい低鉄棒・こうてつぼう高鉄棒

6
1
6
3

枚

キハク

枚

⑧

枚

マイ

6163 枚 訓読み無し

まいきよ 枚拳いとま なに暇が無い

まいすう 枚数かぞを数える

たいまい 大枚をはたいて

にまいめ 二枚目

さんまいめ 三枚目

6
1
6
4

幕
市

は
は

幕
市

13

幕
市

マ
ク
・
バ
ク

まくうち	幕内 ^{りまし} 力士
あんまく	暗幕 ^{をはる}
うちまく	内幕 ^{あば} を暴く
かいまく	開幕 ^{へいまく} ・閉幕
ぎんまく	銀幕のスター
くろまく	~の黒幕
しゅうまく	終幕 ^{むか} を迎える
じまく	字幕スーパー
じょまく	序幕から――
てんまく	天幕 ^は を張る
へいまく	閉幕 ^{かいまく} ・開幕
ばくぐん	幕軍 ^{かんぐん} ・官軍
ばくふ	幕府をひらく
ばくまつ	幕末 ^{いしん} ・維新

6165

密

うかんむり

密



密

ミ

みつぎ	密議をこらす
みつど	密度 <small>たか</small> が高い
みつめい	密命 <small>お</small> を帯びて
みつやく	密約がある
みつゆ	密輸する
みつりん	密林・ジャングル
かみつ	過密 <small>かそ</small> ・過疎
きみつ	機密にふれる
げんみつ	厳密 <small>い</small> に言う
さいみつ	細密 <small>が</small> 画
しんみつ	親密 <small>かんけい</small> な関係
せいみつ	精密 <small>きかい</small> 機械
ないみつ	内密 <small>ねが</small> に願います
ひみつ	秘密 <small>アッコちゃん</small>
めんみつ	綿密 <small>けいかく</small> な計画
みっし	密使をつかわす
みっしつ	密室のトリック
みっしょ	密書をたずさえて

6166

明 皿
ひら

明 皿

⑬

明 皿

×
イ

めいしゅ 盟主となる

かめい 加盟する

どうめい 同盟を結ぶ

れんめい 国際連盟

6167

模 ぎん

模

14

模

モ・ボ

もけい	模型 <small>ひこうき</small> 飛行機
もしゃ	模写 <small>する</small>
もぞう	模造 <small>し</small> 紙
もはん	模範 <small>となる</small>
もほう	模倣 <small>する</small>
もよう	模様 <small>あ</small> 編み

きぼ	<small>だい</small> 規模 <small>しょうきほ</small> ・小規模
----	--

6168

言 訊

言 訊



わけ

言 訊

ヤク

わけ 訳 がわからない

うちわけ 内訳
しわけ 仕訳する

やくご
やくし

やくしゃ
やくしよ

やくぶん

いやく

えいやく
かんやく

ごやく

めいやく

わやく

訳語 えらぶを
訳詩 やくぶん・訳文

訳者 ちよしゃ・著者
訳書 げんしよ・原書

訳文 げんぶん・原文

意訳 ちよくやく・直訳

英訳 わやく・和訳
完訳 しよくやく・抄訳

やくぶん・誤訳

名訳 ごやく・誤訳

和訳

6169

郵 おゆうびん

郵



郵

ユウ

6169 郵 訓読みは無し

ゆうそう 郵送 する

ゆうびん 郵便 を出す

6170

優

ユウ

優

⑪

すぐ (れる)

やさ (しい)

優

ユウ

すぐれる 優れた^{とも}友だち

やさしい 優しい^{かあ}お母さん

やさしくない 優しくない

やさしくする 優しくする

ゆうい 優位^にたつ

ゆうえつ 優越^{する}

ゆうしゅう 優秀^な成績^{せいせき}

ゆうしょう 優勝^{する}

ゆうせい 優勢^{です}

ゆうせん 優先^ざ座席^{せき}

ゆうたい 優待^{ひん}券

ゆうとう 優等^{せい}生^{せい}

ゆうび 優美^{しょう}な所作^さ

じょゆう 女優^{だんゆう}・男優

せいゆう アニメの 声優

だんゆう 男優^{じょゆう}・女優

はいゆう 俳優^{じょゆう}・女優

めいゆう 名優^{だいこんやくしゃ}・大根役者

幼

幼

幼

⑤

おさな (い)

幼

ヨウ

6171 幼

おさない 幼い^こ子ども

おさなくない 幼くない

おさなご 幼子^{ろうじん}・老人

ようぎよ 幼魚^{ちぎよ}・稚魚

ようしょう 幼少^{のころ}より

ようじ 幼時^{から}

ようじ 幼児^{どうじ}・童児

ようじよ 幼女^{ようじ}・幼兒

ようち 幼稚園^{エン}

ようちゅう 幼虫^{せいちゅう}・成虫

ようねん 幼年^{がっこう}学校

ようみょう 幼名^{うしわかまる}牛若丸

ちょうよう 長幼^{じゅん}の順

6172

欲

あくび

欲



ほ(しい)

ほっ(する)

欲

ヨク

ほしい 欲しい
ほしくない 欲しくない

よくとく 欲得ずくで
よくぼう 欲望・欲求よっきゅう
よくめ 欲目みで見ても

ほしがる 欲しがる
ほしがらない 欲しがらない
ほしがった 欲しがった

いよく 意欲がある
がよく 我欲むき出し
ごうよく 強欲やつな奴

ほっする みず水を欲する
ほっさない 欲さない
ほっした 欲した

しょくよく 食欲が無い
しょく 私利私慾しり
ぶつよく 物欲がある
むよく 無欲しょうりの勝利

よっきゅう 欲求・欲望よくぼう

6
1
7
3



は
ね

習
立



ヨ
ク

よくあさ 翌朝・よくじつ翌日

よくげつ 翌月・よくじつ翌日

よくしゅう 翌週・よくじつ翌日

よくじつ 翌日・よくしゅう翌週

よくねん 翌年・さくねん昨年

よくばん 翌晩・さくばん昨晚

乱し おう

乱

⑦

みだ (れる)

乱

ラン

みだれる かぜ かみ 風で髪が乱れる

みだれない 乱れない

みだれた 乱れた

らんざつ へやが乱雑

らんし 乱視・きんし えんし近視・遠視

らんせい 舌世

らんだ けいしょう 警鐘を舌打する

らんちょう 舌丁はお取り替と かえ

らんぴつ 舌筆ごめんくだ下さい

らんぼう 乱暴こな子

らんみやく 舌脈けいり経理

こんらん 混乱する

さんらん 散乱する

そうらん 争舌よの世

どうらん 動乱よの世

はらん 波乱じんせいの人生

はんらん 反舌ぐん軍

6175

卵 ぶにやんた

卵

⑦

たまご

卵

ラン

たまご にわとり 鶏の卵

たまござけ かぜには卵酒

なまたまご 生卵のを飲む

らんおう

らんし

らんせい

らんぱく

けいらん

さんらん

卵黄らんぱく・卵白らんぱく

卵子らんせい・精子らんせい

卵生らんせい・胎生らんせい

卵白らんぱく・卵黄らんぱく

鶏卵そうぼ相場そうぼ

サケの産卵

監見 みる

監見



監見

ラン

いちらん	一覽表 ^{ひょう}
かいらん	回覧板 ^{ばん}
かんらん	観覧席 ^{せき}
しょうらん	ご照覧 ^{あれ}
しょうらん	ご笑覧 ^{ください}
てんらん	天覧 ^{しあい} 試合
てんらん	展覧会 ^{かい}
はくらん	博覧会 ^{かい}
びんらん	英語 ^{えいご} 便覧
ゆうらん	遊覧船 ^{せん}

6
1
7
7

裏

ころも

↑

衣の上下も2つに分けて

裏

⑬

うら

裏

リ

六
一
XII

うら 裏 おもて・表
 うらおもて 裏表 がない
 うらかた 裏方 てっに徹する
 うらがわ 裏側 おもてがわ・表側
 うらぐち 裏口 はいから入る
 うらさく 裏作 おもてさく・表作
 うらじ 裏地 おもてじ・表地
 うらて 裏手にまわる
 うらにわ 裏庭
 うらはら こころ心と裏腹
 うらばなし 裏話を聞く
 うらまち 裏町 おもてどお・表通り
 うらみち 裏道 いを行く
 うらもん 裏門 おもてもん・表門
 うらやま 裏山 のぼに登る

りめん 裏面 ひょうめん・表面

だいら 内裏 ひなにんぎょう・雛人形
 のうり 脳裏 うかに浮ぶ
 ひょうり 表裏 いったい一体

律

きういんぽん

律

⑨

律

リツ・リチ

りつどう 律動
りつれい 律令^{せいじ}政治
りつりょう 律令^{せいじ}政治

いちりつ 一律にはいかない

きりつ 規律^{ただ}正しい
じりつ 自律^{しんけい}神経

ほうりつ 法律・立法^{りっぽう}

りっし 五言律詩^{ごごん}

りちぎ 律義^{ひと}な人

6179

臨 しん

臨

18

のぞ (む)

臨

リン

6179 臨

のぞむ うみ海を臨むいえ家
のぞんだ うみ海に臨んだ

りんかい 臨海こうぎょう ちたい工業地帯

りんき 臨機おうへん たいおう応変の対応

りんしょう 臨床い医

りんじ 臨時ニューズ

りんじゅう ご臨終かんです

りんじょう 臨場かん感あふれる

くんりん 君臨する

こうりん 光臨をたまわる

こうりん てんそん天孫降臨

らいりん ご来臨いただき

6180

朗

つき

朗



ほが (らか)

朗

ロウ

ほがらか 朗らか^{ひと}な人

ろうどく

ろうほう

ろうろう

せいろう

めいろう

朗読^{そどく}・素読

良月^{らげつ}幸良^{きらう}があります

朗朗^{らうらう}とした^{こえ}声

天気^{てんき}晴朗^{せいろう}なれども^{なみたか}波高し

明朗^{めいろう}な^{ひと}人

論

ろん

論

⑮

論

ロン

訓読みは無し

ろんがい それは論外のこと
 ろんぎ 論議をつくす
 ろんじょう 仮定・結論・論証
 ろんせつ 論説文
 ろんせん 論戦をいどむ
 ろんそう ~と論争する
 ろんぱ 論破する
 ろんぴょう 論評
 ろんぶん 論文を書く
 ろんぼう 三段論法
 ろんり 論理と直観

いろん 異論ぞくしゅつ続出
 かくろん 各論はんたいそうろんさんせい反対総論賛成
 きょくろん 極論すると
 ぎろん 議論する
 くうろん 空理空論
 けつろん 結論から言えば
 げんろん 言論じゆうの自由
 こうろん ケンカ口論
 こくろん 国論いっち一致
 しゅうろん 衆論いっち一致
 じょろん 序論・結論
 じろん 私わたくしの持論
 すいろん 推論する
 せいろん 正論ではあるが
 そうろん 争論ろんそう論争
 ひょうろん 評論家
 ほんろん 本論はいに入る
 むろん 無論のこと
 りろん 理論じっさいと実際